

<<共焦点レーザー走査型蛍光顕微鏡 LSM710 の遠隔操作について>>

共焦点レーザー走査型蛍光顕微鏡 LSM710 は令和3年8月から遠隔操作ができるようになりました。

遠隔操作には『team viewer』というソフトウェアを使用します。

<https://www.teamviewer.com/ja/>

team viewer を使用するには、上記 URL から無料ダウンロードでソフトウェアを取得し、パソコンにインストールしてください。

team viewer を使用すると、LSM710 制御パソコンのデスクトップが、自分のパソコン上に現れますので、LSM710 の部屋（東 1-146）から離れた場所（自分の研究室や自宅等）で

- ・ LSM710 を使った画像取得
- ・ LSM710 で取得した画像の解析

をすることができます。

LSM710 制御パソコンには、**本学の team viewer 商用ライセンスに紐づいたアカウント以外からはアクセスできません**ので、まずセンター小林さん kobayashi@cia.uec.ac.jp に連絡して「**本学の team viewer 商用ライセンスに紐づいたアカウント**」を取得してください。

上記アカウントを取得後、設備管理者が遠隔操作に必要な**パートナーID、パスワード**を教えます。

<<遠隔操作のルールについて>>

- (1) **遠隔操作をする時間帯は必ず設備予約システムで設備予約をしてください。**
- (2) 遠隔操作で試料の測定を行う場合、自分の研究室あるいは他研究室の院生・学生に、顕微鏡システムの電源 ON、試料のセッティング、顕微鏡システムの電源 OFF、後片付け等を行ってもらうようにしてください（上記下線のサポートを行う人を、以下 LSM710 スーパーユーザと称します）。
他研究室のユーザのために LSM710 スーパーユーザの仕事をしてくれた人には、研究設備センターから時間単位で謝金をお支払いします。
自分の研究室あるいは他研究室の院生・学生に LSM710 スーパーユーザの仕事に依頼するのは、遠隔操作を行うユーザ自身が行ってください。
LSM710 スーパーユーザの仕事に依頼した場合は kuwahara@uec.ac.jp まで連絡をお願いします。
- (3) 遠隔操作で LSM710 ソフトウェア（Zen）を使用してデータ解析のみを行う（測定は行わない）場合も、**必ず設備予約システムで設備予約**をしてください。
（この場合、LSM710 制御パソコンの電源 ON、最後に電源 OFFを誰が行うかについては、誰かに依頼する、ユーザ自身が行う等考えられますが、遠隔操作でデータ解析のみを行う（測定は行わない）場合、サポートしてくれた人に謝金は出ませんのでご注意ください。）